

おぐい



2005

10

NO.612

● 広報



季節

を訪ねて

vol.6

はせつり

稲を乾燥させるため、やよい時代のはるか昔から伝わるはせがけ。機械化がすすむにつれ、こうした作業風景を見ることができなくなってきました。今でも、はせがけにこだわっている渡邊一衛さん（樽口）は、慣れた手つきで木と縄を巧みに操り次々とはせを吊っていきます。すぐ側で、その様子を見ている黄金色の穂が重い首を垂れていました。

みんなの 広場

9/1

堂々と意見を主張

第44回少年の主張

小国地区大会



第四十四回少年の主張小国地区大会が、九月一日、小国中学校体育館で開催され、出場した十名の中学生は、日常生活を通して学んだことや日頃考えていることを主張しました。「心の中のおぼちゃ」と題して発表した叶水中学校三年の伊藤ゆかりさん（写真前列中央）が最優秀賞に輝き、優秀賞には齋藤良平さん（白沼中三年）、優良賞には貝沼友さん（小国中三年）がそれぞれ選ばれました。



9/18

大自然の中で熱演

白い森音楽祭2005



今年で二回目を迎える白い森音楽祭が、九月十八日、りふれ野外能舞台を会場に開催されました。この音楽祭は、町内有志で結成されている実行委員会（本間洋一委員長）が主催して行ったもので、町内の出演者のほか秋田や岩手などから十六団体が出演、熱の入った演奏と得意の楽曲が披露されました。飛び入り参加もあるなど、会場が一体となった演奏は熱い野外ライブになりました。

東芝セラミックス株式会社小国サイト（早川泰雄サイト長）の稲荷神社奉納相撲大会が、九月九日、同社相撲場で行われました。この日は、東関親方や神幸さんがゲストとして招かれ、歴史あるこの相撲大会を盛り上げました。また、チームごとの応援にも熱が入る中、次々と繰り出される大技に歓声があがり、会場は熱気に包まれていました。

9/9

大技に声援

東セラ相撲大会



—この人に聞く—



小国町教育委員会
外国語指導助手
ウィリアム・テイチさん

町民のみなさんとの交流を 大切にしていきたい

8月から小国町の外国語指導助手に就任されたウィリアム・テイチさんにお話をお聞きしました。

「私はアメリカのカリフォルニア州出身です。私が住んでいた町も小国町のように自然が豊かで、森や溪谷が大変美しい山沿いにあります。

文化の異なる国の人とコミュニケーションをはかることはとても大切なことだと思っていますし、それを子どものうちから学ぶことが重要であると思います。私は、少しでもその手伝いをしたいと思い日本に来ることにしました。英語を教えるだけならばどこの国でもよいのですが、空手を習っていたことや、大学で東洋文化の勉強をしていましたので日本を選びました。

日本語を一生懸命勉強し、町民の皆さんとの会話を楽しみながら、小国の独特の文化をたくさん体験したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。」

9/7

元気な声援とびかう 高齢者体育大会



第三十回小国町高齢者体育大会が、九月七日、町民総合体育館で開催されました。当日は、町内二十二老人クラブから、五百三十名が参加し、民生委員や体育協会役員のかたがたなどの協力により、

さがし物競走など五種目の競技で熱戦が繰り広げられました。最高齢の九十一歳で参加した齋藤勇市さん(北)は、輪投げリレーなどで元気いっぱい活躍されました。

9/23

ぶなの森 篠笛の調べ 大宮神社境内で 篠笛コンサート



「ぶなの森 篠笛の調べ」と題した、篠笛コンサートが九月二十三日、大宮子易両神社境内ぶなの森を会場に開催されました。

当日は、篠笛演奏における我が国の第一人者である鯉沼廣行・金子由美子両先生により、最上川舟歌など十曲が演奏されました。

ロウソクの灯りがゆれ、静まりかえった会場には篠笛の透き通った音色が響きわたりました。訪れた聴衆は幻想的な秋の夜を楽しみました。



山形大学フェア in 白い森の国おぐに

地域と大学との新たな連携を目指して

地域との連携をさらに深め、地域に貢献する事業展開を図るきっかけをつくらうと、山形大学と町では、九月十七日、おぐに開発総合センター、町民総合体育館を会場に、「山形大学フェア in 白い森の国おぐに」を開催しました。

当日は、日本のエジソンと呼ばれる、山形大学工学部機能高分子工学科の城戸淳二教授による「有機の光が世界を変える〜有機ELと地域活性化〜」と題した講演のほか、小学生を対象にした理科実験教室などが行われました。一日の様子を紹介します。



仙道富士郎学長自ら「学長カレー」を町民に振る舞う



大好評だった理科実験教室には大勢の小学生が参加

小国高校の生徒が 研究成果を発表

進学希望先の大学との連携強化に力を入れている小国高校では、二年生の生徒三名が、夏休み期間を利用して、山形大学工学部で共同研究を行いました。

加藤真治さん（東原）と土屋裕陸さん（栄町）は、機械



研究発表をする加藤さんと竹内さん

工学科で「歯車に関する研究」と「ロボットに関する研究」を、竹内健太さん（幸町）は、情報科学科で「コンピュータを利用した画像処理に関する研究」にそれぞれ取り組みました。

オープンキャンパスでその成果を発表した加藤さんと竹内さんにお話をお伺いしました。

加藤真治さん

「もともと車やロボットなどに興味があったので大学で実際に研究したいと思いました。

ロボットを作るにしても、いろんな分野の知識が必要で、いろんな事を知らなければなりません。今回の体験では、自分の目の前にある一つの事ばかりに集中するのでは無く、その一つの事をやり遂げるためにいろいろな事を学ばなければならぬんだということを実感しました。

オープンキャンパスで講演された城戸淳二教授のことは、以前から知っていました。あ

こがれの教授に小国で会え、また自分の発表を聞いてもらえるなんてほんとに驚きました。とてもいい経験ができました。」

竹内健太さん

「小学生の頃からパソコンを使っていますが、もっと深く学んでみたいと思い、研究に参加しました。僕が研究してきたのは、「コンピュータを利用した画像処理に関する研究」で、技術の基礎を学び、音声や言語の処理を体験しました。専門的な言葉もたくさん出てきて、はじめはとても難しく、ついていけないのが不安でしたが、今まで知らなかった事をたくさん学ぶことができました。」

共同研究ということで、教授だけでなく先輩の学生と一緒に研究をすることができました。進路のことなどについてもアドバイスを受けたたり相談ののってもらったりすることができたので、将来の事を考えるきっかけになりました。」

留学生による母国料理の紹介コーナー

中国、マレーシア、インドネシアからの留学生による母国料理の紹介コーナーが設けられ、町民と一緒に料理に挑戦する場面も見られました。参加したかたがたにお話をお伺いしました。

インドネシアの留学生 アフマドさん・イスハさん



インドネシアからの留学生とその家族

「私たちは、インドネシアからの留学生で、米沢に住んで



伊藤麗華さん親子(左)

「中国からの留学生が、町民に母国料理を振舞うということで、お手伝いにきました。」

**中国から小国に嫁いだ
伊藤麗華さん(北)**

「中国からの留学生が、町民に母国料理を振舞うということで、お手伝いにきました。」

私は、中国から小国に嫁いできました。最初は友達も少なく寂しい思いをしました。今日は学生ともたくさん話してきましたし、町民の皆さんにも中国の料理・文化を味わってもらうことができました。今までこうした機会が少なかった。今日、本当は良かったです。」

山口節子さん(町原)

「本場中国の餃子作りなど、今まで知らなかった作り方を留学生や教授に教えてもらいました。本当にいい交流の場になったと思います。こんなにすばらしい企画が一回だけで終わるのではなく、ここからいろいろな広がりや生まれてくると思います。もつともつとたくさんの町民の方にこのオープンキャンパスに参加してもらいたいと思います。いままで、大学生や先生がこんなにくさん小国に来るといいう機会がなかった。山形大学を身近に感じることができた一日でした。」



学生と交流を深める山口さん(左)

**小国高校の生徒が
模擬授業**

大学の授業の楽しさや、もつと大学を身近に感じてもらうことを目的に、小国高校生を対象にした模擬授業が行われました。

工学部電気電子工学科東山禎夫教授による「電気エネルギーの発生とその利用」と題した授業を受けた、伊藤緩生(かんな)さん(玉川)にお話を伺いました。

「現代生活に不可欠な電気

エネルギーに焦点を当てて、エネルギーの発生やその利用について勉強をした後、実際に電池を使ってモーターを作りました。今まで、大学の教授というとすごく堅い印象をもっていました。今日、初めて授業を受けてみて、とても親しみやすいし私たちにもとてもわかりやすく教えてくださいました。今回、山形大学のオープンキャンパスを小国で開催することを聞いたとき、どうしてこんな田舎の小さな町でやってくれるんだろうと驚きました。大学への関心も増えましたし、この企画をこれからも続けて欲しいと思います。」



東山禎夫教授と伊藤緩生さん

地域に貢献する 大学づくり

山形大学では、「地域に根ざした開かれた学校」を目指し、地域との連携を図りながら特色ある大学づくりを進めています。特に大きな柱の一つとして「産学官の連携による地域貢献」を掲げています。

今回の移動オープンキャンパスをきっかけに、今後どのような連携を目指していくのか、企画運営に携わった山形大学工学部の大場好弘教授にお話をお伺いしました。



大場好弘教授

今回は、山形大学が地域にどう貢献できるかをテーマに、そのきっかけになればと思いオープンキャンパスを開催しました。

夏休みには小国高校の生徒三名が実際に工学部に来て勉強をされましたが、この経験によって、大学で学ぶということがすごく身近なことになったのではないかと思います。このことをきっかけに自分の意欲を持つことができるのと、今度はその目標に向かって力を注ぐことができるので、彼ら自身、そして周りにもその力が伝わっていきます。そうした波及効果が期待できます。

オープンキャンパスで行った模擬授業でも、実際に物を作る楽しさ、それにたどりつくための勉強の大切さを知っていたのだのではないのでしょうか。学問をすることの大切さがわかれば学ぶことは苦痛ではなく楽しみになります。今後も、出前で授業を行うなどさまざまな方法を模索し

ながら共に取り組んでいきたいと思えます。

こうしたイベント的なことではなくても、小中学校や高校に私たちが向いて理科実験や授業を行い、楽しさを教えながら理科離れを防ぐといったような文化活動もできると思っています。

また、技術的な分野において、企業との連携をすることも考えています。こうした実りある産学官の連携を進めていくためには、仲介・連携役としての自治体の役割がとても重要なものとなってきます。工学部では、無料で技術相談も行なっておりますし、我々の持っている知的財産を産業に還元し、商品化する、そして長い目で見て雇用を創出し、地域の活性化に結びつけていきたいと考えています。

地域の大学と 連携するシステムづくり

今回は、山形大学の地域貢献の取り組みを紹介しました

が、地域との長年にわたる連携の実績を背景に、地元企業や学校との密接な信頼関係が築かれてきています。

本町においても、東芝セラミックス(株)小国サイトをはじめとする中核企業に多くの人材を輩出しているほか、昭和六十年に旧通商産業省(現経済産業省)の補助事業を導入し、日本重化学工業(株)小国工場の廃熱を熱交換器によって温水化し、役場庁舎や小国大橋への給湯を行う小国町初の「地域エネルギー」の開発に貢献していただきました。

町では、今後も技術面では既存企業をはじめとして、山形大学工学部などとの「産学官」の連携による、新たな事業展開に向けたシステムづくりに取り組んでいきます。また、教育面においては、本町ならではの特色ある小中高一貫教育の実現を目指し、特別なことではなく、普段の授業の一環として、山形大学と連携した学習プログラムを展開できる環境づくりに取り組んでいきます。

白い森

国際交流ワークショップ

朝日連峰を背景に、熱心に稽古に励む



今年度は、冲庭小学校と北部小・中学校で出前ワークショップが行われた。
(写真は北部小・中学校)



アスモで母国料理を披露し町民との交流が図られた。



最終日には、ワークショップの成果が発表された。

日本やヨーロッパの舞台芸術をテーマとし、フランスと日本から受講生を受け入れる「白い森国際交流ワークショップ」が九月五日から十六日まで、白い森交流センターりふれ野外能舞台などを会場に行われました。

今年度は、フランスから十五人の受講生を迎え、大蔵流狂言の山本東次郎氏、能楽師・観世流シテ方の九世・観世鍔之丞氏、全体演劇の大門四郎氏を講師として、ワークショップが実施されました。

また、期間中は、受講生によるフランス物産販売や今年度初めての試みとなる町民を対象とした狂言のワークショップなど、様々なプログラムが展開されました。そこで、二週間にわたって開催された今年度のワークショップの様子や交流の場面などを紹介します。

ワークショップ事業の主な取り組み

- 平成7年 第1回国際文化フェスティバルをブナの原生林に囲まれた天狗平特設舞台で開催。同時に第1回ワークショップを開催。
- 平成8年 りふれ野外能舞台が完成。雄大な朝日連峰を背後に、第2回国際文化フェスティバル及びワークショップを開催。
- 平成9年 子ども達の国際理解を深めるため、沖庭小学校で初めて公演。
- 平成12年 初めての試みとして2つの小中学校での出前ワークショップを開始。
- 平成15年 国文祭やまがた2003応援事業として、町民体育館でマルセル・マルソーのパントマイム公演を開催。
- 平成16年 ワorkshop10回記念公演を開催。町民が創作舞台に出演。



町民を対象としたワークショップには、17名が参加した。



ボランティアとして
参加した
成松鈴香さん
(小国町)

昨年、ワークショップの受講生と友達になり、今も手紙の交換をしています。言葉が通じなくても何かできるのではないかと思いますボランティアスタッフとして参加しました。今年で11年目になるそうですが、小国町ではこんなに素晴らしいことに取り組んでいるんだと実感しました。私自身いい経験ができたので、もっとたくさんの方にも関わってもらいたいと思いました。

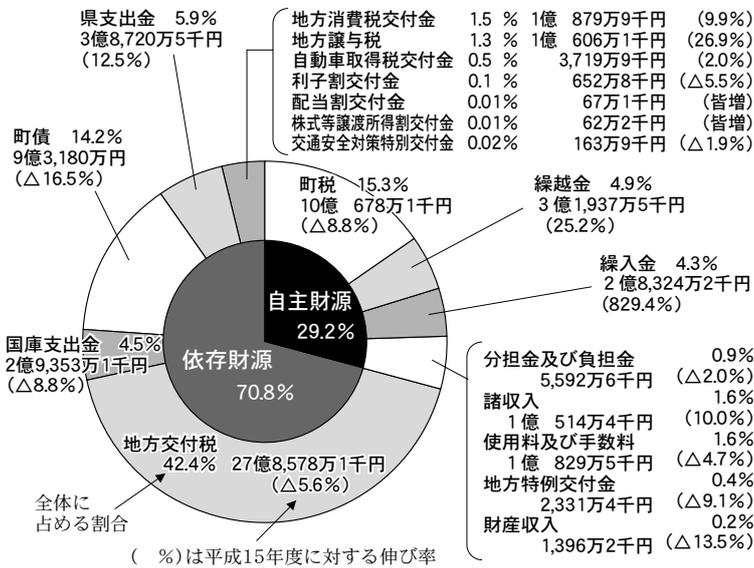


町民ワークショップ
に参加した
石塚夏美さん
(岩井沢)

国語の授業で狂言を勉強したので、実際にやってみたいと思い参加しました。参加する前は、静かなイメージを持っていたので、実際に大きな声を出したり、大きな動作をしたりするところなどは、考えていた印象とは違うものでした。歩き方や座り方なども難しかったのですが、稽古の後には自然に身につけていました。初めての体験で、日本の文化を知るきっかけになりました。

「62億8,841万7千円」でした。

歳入(町に入ってきたお金) 65億7,589万5千円



【一般会計の決算のあらまし】

地域経済を取り巻く環境が激変する中で、町では、行財政改革大綱に基づき財政の健全化対策に取り組みながら、少子高齢社会のまちづくり、産業経済の活性化対策、安全で快適な生活環境対策等の各種施策事業を積極的に展開してきました。

【入ってきたお金】

- ①町税 景気の低迷や公共事業の減少により、町民税が前年度比10.3%の減、また、土地の下落傾向が続いていることや企業の設備投資が低調なことから、固定資産税が前年度比9.3%の減となり、町税は、9,727万8千円の減額となりました。
- ②地方交付税 国の税金が一部町に交付される地方交付税は、制度の改正などにより昨年度に引き続き削減され、1億6,431万4千円の減額となりました。
- ③国・県支出金 国や県の制度を活用して事業を行うときに交付されるのが国・県支出金ですが、国庫支出金は公立保育所運営費等の一般財源化などにより、8.8%の減となったものの、県支出金においては、農林関係の事業費が増加したことに伴い前年度に比べ12.5%の増となりました。

この結果、一般会計の歳入総額は、前年度比1.2%減の65億7,589万5千円となりました。



7.17豪雨

■病院事業会計決算	
病院事業収益	10億3,922万円
病院事業費用	10億4,319万円
※外来患者	50,831人 入院患者 16,060人
■老人保健施設事業会計決算	
老健施設事業収益	2億8,619万円
老健施設事業費用	2億8,273万円
※施設入所者	16,211人 短期入所者 833人
通所リハビリ者	5,024人 居宅支援 161人
■水道事業会計決算	
水道事業収益	1億735万円
水道事業費用	7,870万円
■工業用水道事業会計決算	
水道事業収益	4,933万円
水道事業費用	4,908万円
■簡易水道事業特別会計決算	
収 入	3,875万円
支 出	1,978万円
■国民健康保険事業特別会計決算	
収 入	8億322万円
支 出	7億7,416万円
■老人保健特別会計決算	
収 入	11億2,329万円
支 出	11億2,679万円
■下水道事業特別会計決算	
収 入	3億7,787万円
支 出	3億7,437万円
■訪問看護特別会計決算	
収 入	9,927万円
支 出	5,196万円
■介護保険特別会計決算	
収 入	7億5,569万円
支 出	7億3,951万円

平成16年度の一般会計の総額は

【使ったお金】

- ① **投資的経費** 道路や施設などの整備に使う投資的経費は、7.17豪雨に係る災害復旧事業が2億5,600万1千円にのぼったことから前年度より増額となりました。
- ② **義務的経費** 人件費は、収入役の事務を助役が行うこととした他、組織機構の見直しを行い、一般職員数の削減を図り抑制に努めました。一方、扶助費は、児童手当の制度改正や、保育所入所者の低年齢化による単価の増など、前年度比7.6%の大幅な増額となりました。
- ③ **その他の経費** 平成17年1月から降雪日数、降雪量共に例年のない豪雪に見舞われたため、除排雪経費の追加を行ったことから、維持補修費は前年度比21.1%と大幅に増加しました。また、補助費等は、小国クリーンセンターの廃止に伴い一部事務組合への負担金が減となったことなどにより7.4%の減となりました。

この結果、一般会計の歳出総額は、前年度比0.8%減の62億8,841万7千円となりました。

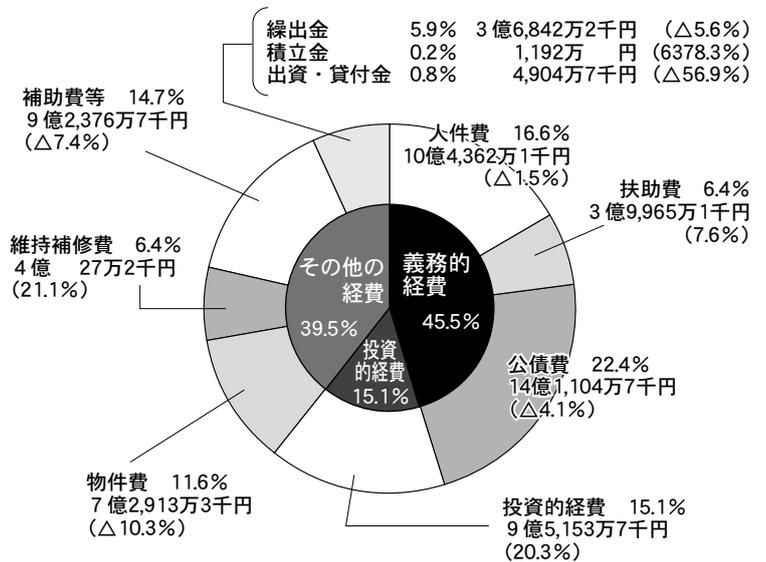


日仏芸術文化交流事業



マタギ体験交流施設建設

歳出(まちづくりに使ったお金) 62億8,841万7千円



主な事業

【総務費】	
後期過疎地域自立促進計画策定事業	79万円
コミュニティ助成事業	250万円
ふるさとづくり総合助成事業	373万円
【民生関係】	
暮らしにやさしい住まいづくり助成事業	430万円
軽度生活援助事業	389万円
子育て支援センター設置運営事業	1,487万円
【衛生費】	
浄化槽設置整備事業	1,403万円
老人保健事業	3,381万円
健康づくり推進事業	205万円
【労働費】	
雇用相談員設置事業	155万円
緊急雇用促進助成事業	480万円
【農林水産業費】	
新山村振興等農林漁業特別対策事業	1億2,194万円
輸入急増農産物対応特別対策事業	4,575万円
小国町食の文化、産業づくり推進事業	722万円
【商工費】	
いきいき街づくり公社支援事業	226万円
新町誕生50周年記念白い森景観シンポジウム開催事業	119万円
【土木費】	
あけぼの公園整備事業	6,602万円
町道長沢三面線道路改良事業	6,448万円
【教育費】	
小中高一貫教育支援事業	1,104万円
新子どもセンター事業	64万円
白い森国際交流ワークショップ事業	704万円
【災害復旧費】	
農林業施設災害復旧費	9,972万円
公共土木施設災害復旧費	1億5,315万円

9月定例議会

9月定例議会が、9月16日から27日まで開催されました。今回の議会では、平成16年度の各会計決算のほか、平成17年度各会計の補正予算など14議案が審議され、原案どおり可決されました。

専決処分の承認

去る九月十一日に執行された第四十四回衆議院議員総選挙経費を措置しました。この他、小国小学校のアスベスト囲い込み工事費と、安全性が確認されるまでの間、おぐに開発総合センターなど三施設に設置した仮教室の経費を追加補正しました。いずれも緊急に予算を確保し、実

施する必要があったため、町長が専決処分を行い、議会の承認を得ました。

一般会計に一億三千六百三十八万三千円を追加

一般会計に一億三千六百三十八万三千円を追加しました。このほか、主な内容は次のとおりです。

● 斎場整備

斎場整備事業について、その建設予定用地において、整備実施に向けた測量調査、基本設計等を行うこととしました。

● 水源の郷交流館の整備

十一月のオープンを目指して叶水地内に建設を進めている「水源の郷交流館」に係る、営業用の備品等の調達経費及び、施設の管理運営委託料を追加しました。

● 合併浄化槽設置補助金

合併浄化槽設置整備事業において、当初見込みを上回る設置希望があったことから、補助金を追加して対応することとしました。また、簡易水道事業において、新股河原角地区営農飲雑用水の水源導水管整備を行うこととしました。

● 介護保険特別会計

介護保険制度の見直しにより、十月から、居住費及び食費が自己負担となることから、所得の少ない方に対し負担軽減のため、特定入所者介護（支援）サービスを新たに実施することとしました。

指定管理者制度導入にむけて条例を改正

地方自治法の改正により、公の施設の管理方法が、これまでの「管理委託制度」から「指定管理者制度」に移行さ

第44回衆議院議員総選挙結果

投票率は八一・八九%
(小選挙区)

九月十一日に第四十四回衆議院議員総選挙が行われました。即日開票の結果、小国町における各候補者ならびに政党ごとの得票結果は次のとおりでした。

■ 小選挙区選出議員選挙

遠藤武彦 三二、二七七票
近藤洋介 三三、一九七票
無効票 一二六票
投票率八一・八九%

■ 比例代表選出議員選挙

社会民主党 四二七票
自由民主党 一一、三三一票
国民新党 二二〇票
日本共産党 二四三票
公明党 九〇九票
民主党 一一、一二六票
無効票 三三〇票
投票率八一・七九%

れました。

このことから、対象となる既存の三十一施設について、平成十八年四月からの導入を目指し、必要な条例改正を行いました。

介護老人保健施設の利用料金を設定

介護保険制度の改正により、保険給付の対象外となった居住費と食費について、その利用料金を設定しました。対象となる利用者及び見直しを行う費用は、短期入所療養介護を含む施設利用者の居住費、食費並びに通所リハビリテーション利用者の食費です。この度の改正に伴い、利用者の負担が増額となることから、平成十八年三月三十一日までの間、特定入所者介護(支援)サービスの該当しない場合、利用者の料金について三分の一相当額を減額する経過措置を実施することとしました。

水源の郷交流館に指定管理者を指定

水源の郷交流館は、横川ダム水源地域整備事業の一環として、農林水産省の経営構造対策事業の採択を得て、東部地区における交流の促進と雇用の創出による農業と地域社会の活性化を目的に、整備を進めています。

当該施設については、本年十一月からの運営を予定していますが、その管理運営にあたっては、事業のねらいである「地域住民が主体となる組織による運営」を行うため、小国町東部地区振興協議会を指定管理者として指定しました。

人事

教育委員の佐藤哲之氏が九月三十日で任期満了することに伴う人事案件が提案され、引き続き佐藤哲之氏を教育委員に任命することに同意されました。

癒しの園 シリーズ 18 健康考話

町立病院 主任看護師 (健康運動実践指導者)

竹田千加子



スポーツの秋の 筋肉づくり

筋肉量のことです。基礎代謝が多い人は、たくさん食べても太りにくい引き締まった身体になります。ダイエットで注意しなければいけないのは、無理な食事制限で、基礎代謝が減らすことです。基礎代謝が減ると脂肪が落ちにくいばかりか、太りやすい体になってしまいます。

近年、筋肉の必要性が話題になっていきます。特に高齢者にとつての筋力アップは、寝たきりをつくらないためにその必要性が強く叫ばれています。便利な生活環境は生活筋力をも低下させ、ちょっとした段差でもつまずき転倒し、骨折してしまう恐れがあります。そして、治療のための安静期間でまた筋力が低下してしまうという悪循環になってしまっています。

姿勢が悪くなってしまうのも、いい姿勢を支える筋肉が老化してくるからです。姿勢が悪いと、肩こりやさらに腰痛になってしまいます。放っておくと衰えてしまう、だからこそ筋肉トレーニングが必要なのです。まずは、一日十分から十五分、週に三回から無理をせずに自分にあったトレーニングを始めましょう。一カ月続けてみると変化が表れ、三カ月でその効果が実感できると思います。さて、その方法ですが、癒しの園では、皆様のところへ出向き、「地域健康教室」を開催しておりますので、お気軽にご相談下さい。

申込み 健康福祉課

☎ 61-1000

小国小学校に 子ども達の笑顔が 戻ってきました

アスベストの含有が確認
された小国小学校機能を
を移転

全国的なアスベスト問題の発生を受け、本町においても最優先に調査を進めてきた小国小学校において、二つの教室からアスベストの含有が確認されました。そのため、飛散防止のための囲い込み工事を実施し、さらに、安全確認のため校内十六箇所において、空气中の飛散数調査を行いました。なお、児童の安全確保を考え、飛散数調査の結果が出るまでの間、小学校機能を町民体育館・総合センター・小国中学校の三箇所に移して授業を行ってきました。



8月31日 保護者らの協力により机や椅子が仮教室に搬出される



8月30日 小国中学校で始業式が行われ今後の生活などについて先生から説明を受ける



9月13日 子ども達も手伝い荷物を学校に戻す



9月2日 仮教室で授業を受ける子ども達

子ども達が、本校舎で
授業を再開しました

九月八日に、囲い込み工事後の飛散数調査の結果報告を受けたところ、基準を大きく下回ることから、最終的な安全性が確認されました。また小国小学校PTAにおいても安全性の理解をいただきました。

九月十三日に、町民体育館をはじめとする三つの仮教室から、本校舎への児童の机・椅子等の搬入を完了し、十四日からは通常の授業を再開しています。

一学期の終業式以来、慣れ親しんだ教室での授業を再開することができた子ども達は、元気な笑顔を見せています。児童たちはもちろんのこと、搬出・搬入作業その他さまざまな面でご協力をいただきました保護者、ならびに教職員の方々に感謝申し上げます。町では今後も、町民生活の安全を第一に考え適切な対応に努めていきます。

フェンシング女子初の 国体制覇！



舟山紗智さん

九月八日から岡山県で開催された、第六十回国体「晴れの国おかやま国体」に、フェンシングの成年女子山形県選抜で出場した、舟山紗智さん（専修大学・若山出身）が、初の国体制覇を成し遂げました。

三人一組で戦う団体の決勝は、岐阜県との戦いになりました。試合は、一勝一敗で進み、勝負は三番手の舟山さんに委ねられましたが、弱気にならず、冷静な試合運びで完勝し、見事栄冠を引き寄せました。

米沢東高校に入学とともにフェンシングをはじめたとい

う舟山さんは、今も夏休み期間などを利用して、母校の後輩と練習を積んでいます。今は、ナショナルチームの練習にも参加し、大学卒業後もフェンシングを続けたいという舟山さん。今後も活躍が期待されます。



町長室から

小国町長 小野精一

来年の四月から、玉川中学校と小玉川中学校を小国中学校に統合することとし、そのための準備に入らせていただきました。

両校共長い歴史と伝統に輝き、これまでそれぞれの地域の教育文化の殿堂として大きな役割を果たし、親しまれてきた学校でありますので、私は、できれば将来にわたって存続したいものと強く願ってきました。しかし、予想を超える急速な少子化の進行によって生徒数は激減し、平成十八年四月には玉川中学校は八人、小玉川中学校は三人となり、このままでは両校とも、それぞれ学級数が共に一学級の編成となる予定です。教育委員会では、このような状況を踏まえ、これまで将来の小中学校の望ましい有り

方に関する調査研究に取り組んできました。その結果、現在の小学校九校、中学校七校を、将来的には概ね平成二十五年を目標に小学校一校、中学校一校に統合することが望ましいという基本的な方向が示されました。私は、この考え方を最大限に尊重してまいりたいと思います。

人づくりはまちづくりの基本であります。将来の小国町を担う子ども達に、教育の基本目標である基礎学力と社会性をきちんと身につけていただくには、望ましい教育環境を構築し提供する責務があります。

玉川中学校、小玉川中学校区の保護者の皆さんをはじめ、地域の皆さんには高い視点に立ってご判断を賜りご理解をいただきました。この上は、小国中学校に統合して良かったと評価していただけるように、来年四月の統合に向けての準備を進めてまいりたいと思います。

■日 程

月 日	場 所	時 間	内 容
10月30日(日)	沖庭小学校	13:00~15:20	沖小・古田歌舞伎
11月3日(祝)	町民体育館	9:00~20:00	作品展示
		12:00~16:10	芸能まつり
		10:00~15:00	茶席
		10:00~16:00	物産販売バザールふるさと亭
	総合センター	18:00~21:00	民謡まつり
11月4日(金)	町民体育館	9:00~18:00	作品展示
		10:00~15:00	茶席
11月5日(土)	総合センター	17:30~19:30	山遊亭金太郎落語会

平成17年度小国町文化祭を開催します。
入場は無料ですのでぜひお越しください。

10月30日(日)~
11月5日(土)

小国町文化祭開催

■問合せ先 教育委員会事務局へ

文化祭出展作品を募集します

平成17年度文化祭出展作品を募集します。

- 受付日時 10月17日(月)~27日(木) 8:30~17:00
- 出展対象者 小学生以上のかたであれば、どなたでも出展できます。また、すべての作品について、テーマは自由です。
- 申込方法 総合センターに用意してある申込書に必要事項を記入し、作品に添えて申し込んでください。
- 申 込 先 総合センター
- 問 合 先 小国町文化協会事務局（教育委員会事務局内）へ

沖小・古田歌舞伎合同定期公演

- 日 時 10月30日(日) 13:00~
- 場 所 沖庭小学校体育館
- 演 目
 - ◆寿三番叟
 - ◆絵本大功記九段目山崎合戦の場（沖小歌舞伎）
 - ◆新皿屋敷月雨暈宗五郎屋敷の場（古田歌舞伎）

種 別	規 格	留 意 事 項
書 道	半紙・画仙紙・糸巾半切などを使用してください。	雅号で出品される方は、別紙に本名を書いて作品と一緒に提出してください。
絵画など	洋画、日本画、版画、彫刻、陶芸、デザインなどで、大きさは自由です。	額縁などに入れて提出してください。
写 真	白黒・カラープリントのどちらでも構いません。大きさは4つ切り以上。組写真にする場合は、キャビネ版以上の大きさを使用してください。	題名、撮影年月日、場所を記入してください。額縁などに入れて提出してください。
俳句・短歌	短冊または色紙に書いてください。	額縁などに入れて提出してください。雅号で出品される方は、別紙に本名を書いて作品といっしょに提出してください。出品は1人につき2作品までとします。
民 芸 品	ワラ・竹・つる・紙細工などを材料に用いたもので、大きさは自由です。	特に留意事項はありません。
手 芸 品	編み物、刺しゅうなどのもの。	
郷土資料	町の歴史などに関係するもの。	
生け花・盆栽	特に規定はありません。	

山形県立小国高等学校 町民報告会

今年度の小国高校の取り組みを、生徒の体験報告や研究発表などを中心に報告します。ぜひご出席ください。

- 日 時 10月20日(木)18:00~19:30
- 場 所 総合センター
- 対象者 どなたでも参加できます。
- 内 容
 - 短期留學生徒帰国報告
 - 検定1級合格生徒体験報告
 - 山形大学工学部での共同研究成果発表 など
- 問合せ先 小国高等学校
(☎62-2054) へ

募集

勤労者住宅の入居者募集

- 勤労者住宅
- ▼小坂町1号棟B104、B303 2K 2戸
(家賃三万三千円)
- ▼岩井沢404 3DK 1戸
(家賃四万二千円)
- ▽対象 小国町に勤務されているかた
- 募集期間 10月3日(月)～11日(火)
- 入居時期 11月上旬
- 敷金 家賃の3カ月分

大里峠越え



- 期日 10月16日(日)
- 時間 午前9時集合 午後4時まで
- 集合場所 役場東側駐車場
- 内容 参加者全員で、大里峠を小国町側から登り、関川村側を下ります。(雨天時には行程を変更する場合があります)
- 募集人員 50名
- 参加費 無料ですので気軽に参加してください。
- 持参するもの 昼食、飲み物、折り鶴など
- 申込期限 10月11日(火)
- 申込・問合せ先 地域整備課へ

白い森子ども体験教室 オリジナル缶づめ作り

- 申込・問合せ先 地域整備課へ
- 期日 11月12日(土)
- 時間 午前9時～午後4時30分
- 場所 樽口方面(総合センター集合・バス乗車)
- 内容 なめこの缶づめ体験、オリジナルのラベル作り、秋の樽口峠散策
- 対象者 小学3年生～6年生
- 定員 20名
- 申込期限 11月7日(月)
- その他 後日、各学校から申込書が配布されます。
- 申込・問合せ先 各学校または

催し

は教育委員会事務局へ

介護者交流会

- 日時 10月24日(月) 午前10時～午後1時
- 場所 健康管理センター
- 内容 認知症と介護について
▽講師 呆け老人をかかえる家族の会世話人 田中緋沙子氏
- ▼座談会
- 対象者 認知症のかたを介護しているかた
- 参加費 二百円
- ※希望するかたへ昼食(五百円)を準備します。参加申し込みと一緒にお知らせください。
- 申込・問合せ先 在宅介護支援センター(☎61-1000)へ
- 日時 10月27日(木) 午後1時～3時
- 場所 タスパークホテル(長井市)
- 内容

囃心カム健康講座

- 日時 10月27日(木) 午後1時～3時
- 場所 タスパークホテル(長井市)
- 内容

おぐに鍋まつり

- ▼講演会
- ▽演題「囃心こと 食べること 生きること」
- ▽講師 高浜デンタルクリニック院長 田沼敦子氏
- 申込・問合せ先 健康福祉課へ
- 日時 10月23日(日) 正午～(雨天決行)
- 場所 山形銀行駐車場(アスモ駐車場で開催の、びっくり市で同時開催)
- 内容 地場の食材を使った、投票による鍋料理のコンテスト
- 問合せ先 おぐに鍋まつり実行委員会(☎62-4146)へ
- 日時 10月23日(日) 正午～(雨天決行)
- 場所 山形銀行駐車場(アスモ駐車場で開催の、びっくり市で同時開催)
- 内容 地場の食材を使った、投票による鍋料理のコンテスト
- 問合せ先 おぐに鍋まつり実行委員会(☎62-4146)へ

西置賜防災フェスタ

- 災害時の心構えとして、さまざまな災害体験ができます。
- 日時 11月6日(日) 午前10時～午後2時
- 場所 西置賜行政組合庁舎広場等(長井市)
- 内容 起振車地震体験、救助袋脱出体験、消防自動車乗車体験、救急救命法の講習会など
- 問合せ先 西置賜防災セン

やまがたフラワーフェスティバル2005

- ター(☎88-1839)へ
- 日時 10月29日(土)午後1時～5時30分、30日(日)午前9時～午後4時
- 場所 米沢市営体育館(米沢市)
- 内容
- ▼30日(日)午前10時30分～
フラワーデザイン親子教室(希望するかたは申し込みが必要です。花材は参加者負担、先着50組)
ほかにフラワーアレンジメントデモンストレーション、県産の花の販売、おきたまオリジナル品種の発表など
- 入場料 無料
- 問合せ先 置賜総合支庁農業振興課(☎0238-2616051)へ
- チェリア・フェスティバル山形2005
- 日時 10月16日(日) 午前10時～
- 場所 遊学館(山形市)
- 内容
- ▼展示発表等(午前10時～)
男女共同参画活動を行っている団体の活動発表

相 談

年金相談

- 日 時 10月19日(水)
- 受 付 10:30~14:30
- 場 所 役場町民相談室
- 問合先 町民課へ

人権相談

- 日 時 10月21日(金)
10:00~12:00
- 場 所 総合センター
- 相談員 人権擁護委員1名
- 内 容 人権に関すること
- 問合先 町民課へ

特設行政相談

- 日 時 10月21日(金)
10:00~12:00
- 場 所 総合センター
- 相談委員 齋藤恒助氏
- その他 特設相談日以外は、相談委員の自宅(☎62-2606)で対応します。
- 問 合 先 町民課へ

被害者支援センターやまがた 無料電話相談

- 犯罪や交通事故などの被害者とその家族の相談に応じます。
- 相 談 日 毎週火曜日、木曜日、第1土曜日(日曜、年末年始、祝祭日は休み) 10:00~16:00
 - 相談番号 023-642-7830
 - 問 合 先 被害者支援センターやまがた事務局(☎023-642-3571)へ

ねんきんダイヤル

年金電話相談窓口の電話番号が、10月31日より全国共通になります。

- 年金請求などの年金相談
☎0570-051165
- 年金を受給しているかたの年金相談
☎0570-071165

食品表示地域フォーラム開催

- 信頼できる、適正でわかりやすい食品表示について考えます。
- 日 時 10月27日(木)
午後1時30分~4時

置賜農業高校記念式典

置賜農業高校の創立百十周年

ご案内

- ▼講演会(午後1時30分)
 - ▽演題 「世界平和への道」
これからのあなたへ伝えたいこと」
 - ▽講師 上智大学法学部 教授 猪口邦子氏
 - ※講演会は申込が必要です。
(定員三百名)
 - 参加費 無料
 - 問合先 山形県男女共同参画センター「チェリア」(☎023-629-7751)へ
- 場 所 山形テルサ(山形市)
 - 定 員 三百名
 - 参加費 無料
 - 内 容 基調講演
 - ▽講師 日本獣医畜産大学 応用生命科学部教授 沖谷明紘氏
 - ▼パネルディスカッション
 - 申込・問合先 東北農政局 山形農政事務所(☎023-622-7231)へ

除雪機械を貸し出します

除雪が困難な歩道や生活道路などを対象に、町の除雪機械(ハンドガイド式小型除雪

- 年を記念して、式典と講演会を行います。
- 日 時 10月29日(土)
- ▼式 典 午後1時~1時45分
- ▼講演会 午後2時~3時15分
- ▽演題 「出会い」
- ▽講師 アテネオリンピック出場 原田めぐみ氏
- 場 所 県立置賜農業高等学校(川西町)
- 問合先 置賜農業高校同窓会事務局(☎0238-4212101)へ

機械35馬力)を貸し出します。

- 対象道路
 - ▼町道その他町が管理する道路で、道幅の狭い1車線の道路または歩道
 - ▼個人または法人が管理し、不特定の一般交通の用に供されている道路など
- 対象者
 - ▼町に居住する2世帯以上で構成する任意団体
 - ▼町長が特に認める個人または法人
- ※除雪を業とするものには、貸与できません。
- 募集期間 10月3日(月)~31日(月)
- 貸出期間 11月下旬~平成18年3月31日
- 申込・問合先 地域整備課へ

10月は土地月間です

10月1日から31日までは「土地月間」です。大規模な土地の取引には、届出をしましょう。

- ▼届出が必要な土地取引とは
 - ①市街化区域二千㎡以上
 - ②①を除く都市計画区域五千㎡以上
 - ③都市計画区域以外の区域一万㎡以上
- ▼届出は誰が、いつするの
土地の取得者(買主)が、契約(予約)した日から2週間以内に、役場総務企画課へ届出をしなければなりません。
- ▼届出をしないとどうなるの
届出をしなかったり、偽りの届出をすると、法律で罰せられます。
- 問合先 総務企画課へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◆美人の日本語 山下 景子
 - ◆お母さんっていうシゴト 床屋かなぶん
 - ◆生きて死ぬ智慧 柳澤 桂子
 - ◆弧宿の人 上・下 宮部みゆき
 - ◆海猫 谷村 志穂
 - ◆絶海にあらず 北方 謙三
 - ◆大丈夫. 人は必ず生まれ変わる 岩井喜代仁
 - ◆シリウスの道 藤原 伊織
 - ◆コメント力 斉藤 孝
 - ◆土の中の子供 中村 文則
- ※ほか多数入荷しました。

今月の休館日

10月5日(水)・10日(祝日)

子育て支援センターから

- 受付時間 午前8時30分～午後5時 (土、日、祝日を除く)
- 通話料金 市内電話料金分の負担となります。
- 問合先 町民課へ
- ▽『あそびの広場』
- 日程 10月11日(火)、18日(火)、25日(火)子育て講座(栗ご飯に挑戦)、11月1日(火)8日(火)
- 時間 10時～11時30分
- 場所 健康管理センター
- ※10月11日は総合センターです。

▽『なかよし広場』

- 日程と場所
- ▼10月20日(木) 総合センター交流室
- ▼10月13日(木)、27日(木)、11月10日(木) おぐに保育園
- 時間 10時～11時30分
- ▽『ハッピーキッチン』
- 日程 11月12日(土)
- 時間 9時30分～12時30分
- 場所 健康管理センター
- 内容 五目蒸しご飯作りと食生活改善推進員連絡協議会の料理紹介など
- ※詳しいことは、子育て支援センター(☎62-23330)へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
山和建設(株)	4人	土木施工管理技士、土木作業員	18～55	8:00～17:00
(株) 齋藤建設	2人	土木施工管理技士、土木作業員	不問	8:00～17:00
(株) 横川建設	11人	土木旅行管理技士、重機オペレーター、土木作業員、廃棄物処理作業員、解体および廃棄物処理の営業、運転手	不問	8:00～17:00
(株) 井上製作所	2人	マシンオペレーター	18～30	8:30～16:45ほか
大河内産業(有)	5人	事務員、運転手	不問	8:00～17:00
(株) K S 産業	2人	運転手	不問	8:00～17:00
ひさご電材(株)小国工場	1人	電線製造工	20～45	8:30～17:30
(有) ヤオコー	5人	検査、組立工	20～50	8:15～17:00
ハイコー(株)	2人	電気工事	18～40	8:00～17:00
猪野電気工事(株)	2人	電気工事	18～35	8:00～17:00
(有) 小国技研	4人	洗浄工	30～65	8:00～17:00
(株)アライ山形支店米沢センター	10人	石英ガラス加工	不問	8:30～16:40ほか
小林建築	1人	大工見習	18～25	8:00～18:00
舟山鉄筋	1人	鉄筋加工	不問	8:00～17:00
(株)サンヨーマシナリー	3人	建築施行管理	不問	8:00～17:00
ヤマト運輸(株)長井営業所	2人	セールスドライバー	20～40	8:00～17:00
(有) 村上警備保障	5人	交通誘導	不問	8:00～17:00
東芝セラミックス(株)小国サイト	2人	製造開発、設備管理	～35	8:30～17:10
東セラマシナリー(株)	1人	電気工事士	25～35	8:30～17:10
日本重化学工業(株)小国事業所	3人	技術員、研究員	20～34	8:15～17:15
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～17:45
K-PRODUCTS	1人	インターネット販売	不問	9:00～18:00
(株)山形労金サービス	1人	事務	不問	8:50～17:10
アクサ生命保険(株)長井分室	5人	保険営業	20～59	9:15～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
アベブランニング	1人	サービススタッフ	不問	8:00～17:00
(有)コンスカパニー第一ホール小国店	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(有)白い森よこね物産品直売所	2人	販売、調理補助	18～45	9:00～20:00週の5時間
小国町森林組合	2人	造林作業	不問	7:30～17:00
小国食糧(株)	1人	販売員	18～45	9:30～18:30
(有)蔵王ストア	2人	店員	不問	8:45～18:00
ファミリーマート小国町店	3人	店員	不問	21:00～0:00ほか
特定非営利活動法人まんまる	1人	調理員	不問	9:00～14:30
(有) 菊	1人	調理補助	不問	10:00～19:00

求人情報

左の表は、9月22日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

定年を控えたかたへ セミナー開催

- 日時 10月20日(木) 13:30～14:30
- 場所 総合センター
- 対象者 働いているかたで定年を控えたかた
- 内容 ○消費生活トラブルについて
○年金と雇用保険について
- 問合先 ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

山形県の最低賃金改正

【平成17年10月1日から】

●1時間 **610円**

- 問合先 米沢労働基準監督署 (☎0238-23-7120) へ

保健カレンダー

月 日	乳 幼 児 健 診	受 付 時 間	対 象	場 所
10/26	ポリオ予防接種	13:00~13:30	○17年1~5月生まれ ○7歳6カ月までに 2回接種を終えて いない子ども	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、問診票 (4カ月児、1歳児健 康診査は除く)
11/25	4カ月児健康診査	13:00~13:15	17年7月生まれ	
	1歳児健康診査		16年11月生まれ	
11/30	2歳児歯科健康診査		15年3~5月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

高齢者の

インフルエンザ予防接種を
助成します

町では、65歳以上のかたのインフルエンザ予防接種料金の一部を助成します。

■対象者 小国町に住所のある、接種当日に満65歳以上のかたで、接種を希望するかた

■接種期間 11月1日(火)~平成18年1月31日(火)
(期間内でも、ワクチンが無くなり次第、終了します)

■自己負担額 1,500円

■接種場所と申込方法

接種場所	申 込 方 法
今 医 院	予約は必要ありません。
小国町立病院	事前に予約が必要です。 10月17日(月)より予約を開始します。

■問合先 健康福祉課へ

児童手当を振り込みます

10月7日(金)

10月7日(金)に、10月期(平成17年6月~9月分)の児童手当を振り込みます。振込通知は郵送していませんので、該当するかたは確認してください。

児童手当は、申請していただくことによって支給できるようになっています。次のような場合で、まだ申請を行っていないかたは、早めに手続きをおこなってください。

- 平成8年以降に子どもが生まれたが、まだ申請をしていない。
- 転入届は出したが、児童手当の手続きを忘れていた。
- 以前、所得超過によって受給資格を喪失したが、その後、所得が減った。または、扶養家族等の数が増えたために、所得制限限度額を超えなくなった。

など

※所得制限などがあります。

■問合先 健康福祉課へ

第8回特別弔慰金を受け付けます

■弔慰金内容 終戦60周年第8回特別弔慰金(国庫債券) 額面40万円、10年償還

■対象者 基準日(平成17年4月1日)において、弔慰金の受給権があるかた
(死亡等により欠格の場合は、条件により遺族が受給できます)

■請求期間 平成20年3月31日まで

■請求受付日時 毎週水、木、金曜日 10:00~15:00

■受付場所 健康管理センター

■その他 前回の特別弔慰金の受給者のかたには、個別に通知を出しています。

■問合先 健康福祉課へ

岩井沢二、上岩井沢地区
民生委員・児童委員が決まりました

岩井沢二、上岩井沢地区の新しい民生委員・児童委員に、岩井沢の加藤登志子さんが任命されました。

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

舟 渡 塚 原 ^{いおり}伊 織 (望子)
 田 沢 頭 木 口 ^{らんぜ}蘭 世 (清隆)
 岩 井 沢 齋 藤 ^{たかき}誉 生 (克久)
 西 今 ^{りょうま}亮 馬 (清一)
 (友子)

おくやみ申し上げます。

小国町 高橋 祐三郎 (87)
 小国町 高赤澤 いしを (74)
 小国町 高嶋 貫徳雄 (88)
 小国町 高齋 藤三男 (74)
 小国町 高石 藤山貞二男 (84)
 小国町 高石 藤山貞恵富雄 (78)
 小国町 高小 勝見 貞次 (58)
 小国町 高佐 藤見 貞と (86)
 小国町 高高 橋板 仁市 (80)
 小国町 高山 田麻 雄 (91)
 小国町 高原 田みゆき (87)
 小国町 高橋 純子 (71)
 小国町 高舟 山三五郎 (88)
 小国町 高小 浦清一 (70)
 小国町 高戸 田秀美 (46)
 小国町 高伊 藤た (88)
 小国町 高小 林正男 (47)
 小国町 高石 垣テイ (87)
 小国町 高伊 藤を (89)

人口のうごき

人口 男 … 4,816人(-15)
 女 … 5,080人(-12)
 計 … 9,896人(-27)
 世帯数 3,302世帯(-7)
 平成17年8月31日

平成17年度 地価調査結果

9月21日に県から平成17年度地価調査結果が公表されましたが、小国町に関するものは、次のとおりです。

■基準地の標準価格 (平成17年7月1日現在)

基準地の所在	本年価格 (円/㎡)	前年価格 (円/㎡)	変動率 (%)
兵庫館一丁目6番11	12,200	12,900	-5.4
緑町二丁目13番5	21,600	22,200	-2.7
北字原野80番25	9,300	9,800	-5.1
兵庫館三丁目5番18外3筆	14,800	16,000	-7.5
小国小坂町字八木沢三125番	(円/10a) 57,000	(円/10a) 62,000	-8.1

※地価調査とは

地価調査とは、県内全市町村を対象として、各地域で基準となる土地（これを基準地といいます。）を選んで、その適正な土地価格を公表し、土地を売買する際の目安としていただくものです。

■問合せ先 総務企画課へ

■問合せ先 町民課へ

をスローガンに、全国各地域安全運動が実施されます。

■運動の重点

- ▼街頭犯罪等（自転車盗・車上ねらい・侵入窃盗の防止
- ▼振り込め詐欺被害防止
- ▼暴力団の排除

※10月11日(火)午前10時30分から「アスモ」前で出発式を行います。(すみれ保育園児の鼓笛演奏など)

「みんなでつくろう
安心の街」

10月17日～20日
全国各地域安全運動

農地の所有権移転および転用には許可が必要です

農地の所有権移転 農地を売買、贈与などして、そのまま耕作を続ける農地の所有権移転は、農地法第3条の許可が必要です。また、農地を貸し借りする場合にも許可が必要です。

農地の転用 農地に家を建てる、農地を駐車場にする、または、資材置場などの一時的な転用の場合でも、農地法に基づく農地転用の許可が必要です。許可を得ずに無断で農地転用をすると、農地法の規定による罰則が適用される場合があります。

■申請・問合せ先 農業委員会事務局 (☎62-2111) へ

体育協会設立五十周年記念

シリーズ
健康・体力づくりのあゆみ

地区対抗に年間総合得点制が導入された昭和四十七年十月に、第一回壮年ソフトボール大会が行われました。四十才以上の選手で戦うこのソフトボール大会は、家族らの大支援の中行われていました。

今月は、今も現役でソフトボールを楽しんでいる渡部宏さん（岩井沢）に思い出をお伺いしました。

「ソフトボールが好きだから
続けられました」

小芦地区から引越しをして、現在の町岩東地区になりましたが、もともと一つだった町岩地区が西と東に分かれ



渡部 宏さん



昭和63年6月に開催された壮年ソフトボール大会

二三塁でうちのチームがリードしていました。しかしエースが故障して、私がリリーフとして交替することになったのです。打たれたのはピッチャーゴロ。優勝目前と思っていたのですが、なんとファーストに悪送球。サヨナラ負けをしてしまいました。相手チームのピッチャーは義理の弟ということもあり、本当に悔しい思いをしました。今でもその時のことをよく覚えています。

今はシニアのチームに入ったり、審判の資格を取っているいろいろな試合に出かけています。見ているだけでも楽しいです。本当に好きだからここまで続けてこれたと思います。」

大切にしまっている有名選手の手サイン入りボールを、笑顔で見せてくださいました。

た当時は、ライバル意識がとて強く、日重化のグラウンドを借りて早朝練習や夕方の練習をして汗を流しました。今でも悔しくて忘れられないのは、二十年ほど前、町岩西と戦った決勝戦の事です。最終回、一対〇、ツアアウト

編集室から

今月は、はせつりをしている様子を取材に行きましたが、今、はせがけをしている農家がこんなにも少ないという事を改めて実感しました。私が小学生の頃はどこにでも見られる普通の光景で、実際に私も稲を渡す手伝いをした記憶があります。それが今は、探さないと見つからないのです。取材にご協力いただいた渡邊さん（表紙）は、今は牛を飼っている人が少ないから、みんな機械でやってしまうんだ。と話してくださいましたが、近い将来、はせに掛けられた稲穂を見る事が出来なくなってしまうのかなと、田園風景の一コマが消えようとしている寂しさを感じました。

（舟山）

出会いとともに



高野三郎さん（超中里）の畑でとれた手のひら形のなす